

## 第2学年G組 音楽科指導案

指導者 (T1) 平野 仁  
(T2) 長谷川 明宏

- 1 題材名 歌詞と旋律の関わりに注目し、表現を工夫して歌おう  
教材名 表現「メッセージ」(星 梨津子 作詞、佐井 孝彰 作曲)

### 2 題材について

《学習指導要領とのかかわり》

- A 表現 (1) ア 歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して歌うこと。  
イ 曲種に応じた発声や言葉の特性を理解して、それらを生かして歌うこと。  
ウ 声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて歌うこと。

- [共通事項] ア 音色、リズム、旋律、強弱  
イ 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受すること。

#### (1) 題材観

本題材は、歌詞と旋律の関わりに注目し、楽曲の流れの中でどのような演奏方法がふさわしいのかを感じ取り、音楽表現を工夫して歌うことをねらいとしている。

この「メッセージ」は、新しく教科書で採用され、歌詞の内容も中学生が親しみ易く、楽しんで取り組むことができる楽曲である。短い作品ではあるが、言葉のリズムの変化や表現方法の工夫が期待できる教材である。

本題材における小、中学校のつながりとしては、小学校3年生で「せんりつ」という言葉が初めて題材名として示され旋律の特徴を感じ取る学習に入る。4.5.6年生と成長の段階を踏まえて、旋律の特徴を感じ取りながら曲想を味わう学習が展開される。さらに中学校1年生の表現領域では曲想の変化を感じ取り、中学校2年生になると旋律の動きを理解したり、曲の構成や曲想の変化を感じ取ったり、歌詞と旋律の関わりから具体的な表現方法の工夫へとさらに発展した学習が展開される。

#### (2) 生徒の実態 (男子14名、女子19名)

本学級の生徒は明るく活発で、毎回前向きに学習しようという意欲が見られる。日頃の授業では音取りをして皆で合唱することを楽しみにしている。1年生では発声方法や曲の強弱の変化や速度の変化について学習をしてきた。2年生の合唱コンクールで取り上げた課題曲「心の中にきらめいて」・自由曲「信じる」では、言葉の発音や強弱記号だけでなく、その部分に急激な速度変化や“話すように”などの楽語類、または和声的要素が加わり、それらが生み出す要素同士の関連を知覚し、より深い音楽表現にふれる経験を深めている。

《実態調査》9月と10月の2回実施。

男子14名 女子19名 計33名

1 歌を歌うときに以下の項目をどのくらい意識して歌っていますか？

項目	あまり意識していない	意識している	とても意識している
① 姿勢	2→2	19→16	12→15
② 声の美しさ（響き）	1→0	14→13	18→20
③ ハーモニー	0→0	17→11	16→22
④ 強弱	1→1	15→7	17→25
⑤ 速度の変化	0→0	14→11	19→22
⑥ 歌詞の意味、内容	7→4	15→13	11→16
⑦ 言葉の発音	4→4	21→14	8→15
⑧ メロディーの動きの面白さ	6→5	18→11	9→17

2 「合唱の活動」または、「歌うこと」では、どのようなところが良いと考えていますか？

（面白いですか？）9月

- ・みんな（クラスの友達と響きをそろえ、バランスを考え、気をつかいながらだんだん歌が上手につれクラスの絆が深まっていくのが嬉しい。
- ・パートだけでは1つの旋律だったのに歌を合わせることによって合唱となって、大きな歌になることがとても好きです。表現することによってさらに曲が良いものになっていくのも良い。
- ・みんなが一緒になって歌うことで楽しくなる。
- ・歌うことで歌詞の意味を表現つけて相手に伝えられるということがいいと思う。
- ・合唱は一人でできないので、クラス全員でできるものが楽しい。
- ・全てのパートが揃った瞬間、他のものでは感じることでできない独特の面白さ、達成感が好きです。

10月

- ・歌う回数を重ねるごとにみんなの気持ちが強く表現されていくのが面白い。
- ・自分たちのハモリが一段と成長していく面白さ、クラス一人一人が大きさ、響きなどが少しの意識で変わる面白さがある。
- ・強弱を意識して歌ったら、歌に動きが見えて、面白くなってると思う。 他

<考察>

9月の実態調査では項目①～⑤ではあまり意識していないという生徒が少ない。合唱コンクールの取り組みを通してお互いの声を響き合わせたり、強弱についての意識が高まっている。

⑥～⑧の項目ではあまり意識していない生徒が増えることから、歌詞の意味、内容やメロディーの動きなどについての意識を高め、楽しさを実感する音楽経験が必要である。

10月の実態調査では合唱コンクールの活動を経て全体として各項目について意識は高まっている。依然として、⑥歌詞の意味、内容について⑦言葉の発音⑧メロディーの動きの面白さについては、意識していない生徒が見られる。パート練習で生徒のどうして意見交換したり、活動する経験を通して意識を高めていきたい。「メッセージ」ではメロディーの言葉やリズムに特徴がある箇所があり、この部分に焦点をあてた取り組みを通して、歌詞と旋律の関わりに興味をもち、表現を工夫して歌う態度を育てたい。

### (3) 指導観

歌唱教材「メッセージ」は冒頭のユニゾンの自然なフレーズから、その後のクレッシェンドを経てフォルテで各声部が分かれ、豊かな和声の響きが現れる構造になっている。それと同時に歌詞の言葉のリズムの変化も見られ、短いながらも変化に富む楽曲である。「まっすぐに」の3回繰り返しの部分では、言葉のリズムの変化が旋律の動きに反映され、強弱記号等は書かれていないが、自然なクレッシェンドで演奏することを気付かせたい。「いつでも そっと」は2回繰り返されるが、言葉のリズムの変化があり同時にデクレッシェンドによる表現が記譜されている。生徒が自ら各音楽的要素を発見し、感じ取り、楽曲の流れの中でどのように表現していきたいのかを大切に場面を設け、響きのある歌声で思いや意図を表現する能力を伸ばしていきたい。

### 3 題材の目標

歌詞と旋律の関わりに注目し、曲にふさわしい表現を自ら工夫して歌う。

### 4 題材の評価規準

音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能
歌詞の内容、曲想に関心を持ち、曲にふさわしい音楽表現で歌う学習に自ら取り組もうとしている。 (関①)	音色、リズム、速度、旋律、強弱、などの音楽を形づくっている要素を感受して、思いや意図をもって歌う。(創①)	自然な発声で歌詞の内容や曲想を生かした表現で歌う。(技①)

### 5 研究の視点について

#### 【視点2】小中連携を関連させた題材構成（指導計画）

##### ○小学校で学んだ学習を生かした題材構成

本題材では歌詞と旋律の関わりに注目して表現を工夫して歌うことがねらいである。小学校では中学年より楽曲の旋律の特徴を感じ取り、曲想とその変化や演奏のよさに気付いて学習をしている。そして、高学年では曲想にふさわしい表現を考え工夫したり、曲想の変化を感じ取っていく学習を深めてきた。

小学校からのつながりを通して、中学校では旋律と詩の関係から具体的な表現を工夫した学習に発展させ、発声方法、言葉の役割、旋律の捉え方、各声部の役割、また曲想の変化などを実際の演奏の中で体験させることで学びが深まっていくと考える。

#### 【視点3】「音楽を形づくっている要素」を支えとして思考・判断・表現力を育てる授業改善

##### ○「音楽を形づくっている要素」について音楽活動を通して理解すること

学習指導要領における内容の【共通事項】の系統には、小学校・中学校共に「音楽を形づくっている要素」について音楽活動を通して理解すること。」と明記されている。単にその名称や意味を教科書や楽譜上で知るだけでなく、様々な音楽活動の中で、児童生徒がその有用性を実感しながら意味や働きを理解し、表現活動や鑑賞の各活動に用いていくようにすることが重要である。

中学校の発達段階においては、音楽を形づくっている要素を「実践する」ために実際の指導の

中で範唱例を鑑賞したり、教師や生徒同士の演奏に触れ比較や対比をする場面を設けることが有効であると考え。また、「ここはこんな風にしてみよう」など生徒の意見を中心に挑戦させることも大切であると考え。本時では、パート練習で拡大楽譜と付箋などを使い生徒が「何を練習しているのか。どこをどのように歌いたいのか」を明確にさせながら授業を進める。具体的な練習方法を提示することで音楽経験を深め、音楽を形づくっている要素の理解と実践が進んでいくと考える。

## 6 題材の指導計画及び評価計画（2時間扱い）

時	○学習内容 ・主な学習活動	評価規準
ねらい	歌詞の内容を理解し、自分の旋律が歌えるようにする。	
第一時	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主旋律をつかむ</li> <li>・フレーズをつかみ、自分の旋律を把握する。</li> <li>○合唱で歌う</li> <li>・みんなで合わせ、全体の中で自分のパートの役割を感じ取る。</li> <li>○歌詞の内容、言葉の発音を知る。</li> <li>・歌詞の意味を知る。</li> <li>・ポイントとなる言葉の発音を意識する。</li> </ul>	<p>歌詞の内容、曲想に関心をもち、曲にふさわしい音楽表現で歌う学習に自ら取り組もうとしている。(関①)</p>
ねらい	言葉のまとまりと旋律の音の動きを意識しながら、強弱を生かして歌う。	
第二時 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歌詞と旋律の関わりに注目し、楽曲の流れの中でどのような演奏方法がふさわしいのか考える。</li> <li>・付箋などを使い、個人の演奏アイデアを取り上げる。</li> <li>・意見を発表する場面をつくる。</li> <li>○具体的な表現を工夫して歌う。</li> <li>・パート練習でパートリーダーを中心に各パートで演奏方法を練習する。</li> <li>・練習の成果を発表する場面をつくる。</li> </ul>	<p>音色、リズム、速度、旋律、強弱、などの音楽を形づくっている要素を感受して、思いや意図をもって歌っている。(創①)</p> <p>自然な発声で歌詞の内容や曲想を生かした表現で歌っている。(技①)</p>

## 7 本時の学習

### (1) 目標

言葉のまとまりと旋律の音の動きを意識しながら、強弱を生かして歌うことができる。

### (2) 展開 (2/2)

学習内容と学習活動	○教師のかかわり ◆評価規準 (評価方法)
1 発声練習を兼ねて「千葉市歌」と「心の中にきらめいて」を歌う。 2 教師による「メッセージ」の範唱を聴く。 3 本時のめあてをつかむ	○教師のかかわり ◆評価規準 (評価方法) ○発声に気を付け伸びやかな声が出るように支援する。(T1.2) ○実際に教師が歌う。(T1.2) 言葉と旋律の関係の面白さに気をつけて聴くよう助言する。(T1)
言葉と旋律を生かし、表現を工夫して歌おう。	
4 「言葉のリズム」「旋律のまとまり」「強弱の表現」「その他」について意見を発表する。 5 各パートの練習課題と付箋の使い方を把握する。 6 3つのパートに分かれて練習をする。 ・パートリーダーを中心に練習を進める。 ・練習用CDは使用しないで伴奏などを自分たちで弾く。 ・各パートの拡大楽譜に付箋を貼って、練習内容を明確にしながら練習を進める。 ・言葉のリズム、旋律、強弱で付箋の色を変えるなど工夫をして練習を進める。 7 パート練習の成果を発表する。 ・工夫した点について発表し、実際に演奏する。 8 工夫した表現で合唱する。 ・自然な発声方法で歌唱する。 ・音色、強弱を意識して歌う。 ・言葉のリズム、旋律の面白さを意識して歌う。 9 合唱した感想や成果を発表する。	○生徒の発表した内容を「言葉のリズム」「旋律のまとまり」「強弱の表現」「その他」に分けて板書する。(T1.2) ○言葉のリズム、旋律、強弱で付箋の色を変えて練習に生かすように助言する。(T1) ○パートを巡回し、言葉の発音や付箋の内容が表現されているか助言する。(T1.2) ◆音色、リズム、速度、旋律、強弱、などの音楽を形づくっている要素を感受して、思いや意図をもって歌っている。(創①) 〈発言内容、行動観察、演奏聴取〉 ○パート練習で使用した拡大楽譜を正面黒板に貼り、発表内容を確認していく。(T1.2) ○3つのパートが工夫した点をお互いに共通理解して合唱するように助言する。(T1.2) ◆自然な発声で歌詞の内容や曲想を生かした表現で歌っている。(技①) 〈演奏聴取〉
10 先生方の「メッセージ」の合唱を聴く。	○実際に教師が歌う。

音楽科市教研（11月15日）

事前アンケート

合唱コンクールを終えてどのように意識が変わったか？

1 歌を歌うときに以下の項目をどのくらい意識して歌っていますか？

- ① 姿勢・・・・・・・・・・・・・・・・（あまり意識していない・意識している・とても意識している）
- ② 声の美しさ（響き）・・・・・・・・（あまり意識していない・意識している・とても意識している）
- ③ ハーモニー・・・・・・・・・・・・・・・・（あまり意識していない・意識している・とても意識している）
- ④ 強弱・・・・・・・・・・・・・・・・（あまり意識していない・意識している・とても意識している）
- ⑤ 速度の変化・・・・・・・・・・・・・・・・（あまり意識していない・意識している・とても意識している）
- ⑥ 歌詞の意味、内容・・・・・・・・（あまり意識していない・意識している・とても意識している）
- ⑦ 言葉の発音・・・・・・・・・・・・・・・・（あまり意識していない・意識している・とても意識している）
- ⑧ メロディーの動きの面白さ・（あまり意識していない・意識している・とても意識している）

2 「合唱の活動」または、「歌うこと」では、どのようなところが良いと考えていますか？  
（面白いですか？）

5 これからどんな風にクラス合唱をしていきたいですか？